

令和7年度 大分県協働推進会議 議事録

1 日 時 令和8年2月3日（火） 13:30～15:00

2 場 所 大分県庁舎別館8階 86会議室

3 出席者

(1) 委員（12人/16人中）

大 学 等 吉村充功委員（会長）

企 業 等 大塚浩委員、清水順二委員、河野裕子委員、佐藤宝恵委員

N P O 川浪佳恵委員、小野二生委員、山本裕子委員、
合原万貴委員、衛藤めぐみ委員

市 町 村 山内弘美委員

関係機関等 藤田亘宏委員

(2) 事務局

<生活環境部>部長 首藤圭

<協働・共助推進室>室長 朝久野理、主幹（総括）谷口純也、副主幹 矢野佳苗、
主事 神志那孝仁、主事 大野秋、主事 木下雄太

<事務局関係機関>公益財団法人おおいた共創基金 事務局長 田所誠二

4 公開、非公開の別

公開（傍聴人数1名）

5 次 第

(1) 開会 生活環境部長挨拶

(2) 事務局報告事項

・事務局から、①県内NPO活動の状況（県内NPOの団体数、行政とNPOが協働して行った施策の説明、NPO団体の現況調査の結果説明等）、②令和7年度の取組進捗及び実績、③令和8年度の取組方針について説明した。

<委員からの意見>

・「おんぼ」の内容は充実しているが、サイトの知名度が低いのではないかと。今年度新聞広告を実施するとのことだが、同じ予算規模であれば少額の広告を複数回行うことでより高い効果が期待できると思うので、今後手段を検討してほしい。

・NPOとの協働による行政側のメリットについても発信してほしい。

(3) その他報告事項

- ・公益財団法人おおいた共創基金から、「休眠預金事業」について、概要と今後の展開について説明した。

<委員からの意見>

- ・子育て支援に加えて、中山間地域の高齢化に関するメニューも検討してほしい。

(4) 委員意見交換

「多様な主体との協働推進」をテーマに、委員間での意見交換を行った。

<主な意見>

- ・高齢化が進行する中で、活動を発信できない団体も多いため、活動を発信して若い世代との交流を試行している。わかりやすい広報で、何をしている団体かを知ってもらうことが重要だと考えている。
- ・活動を始めて14年になる。これまで様々なNPO等と協働を行ったが、単発で終わることが多かった。各団体の活動がどのようにつながるか、互いにどんなメリットがあるかを周知することが課題であると思う。SNSを使った広報を検討しているところだが、若い世代への広報が成功した事例などがあれば知りたい。
- ・高齢化により活動継続が難しいという状況がある中で、地域で企業や学校と協働のネットワークを構築して海岸清掃等に取り組んでいる。企業がNPOと一緒に活動し、NPOへの理解を深める機会になっていると思う。
- ・地域課題の解決は金融機関としても取り組むべき課題として認識している。今回の会議で、こちらの想定とNPO側の認識の差異が確認でき、非常に参考になった。
- ・協働経験のある団体は協働への意欲が高いことが、事務局の調査でも指摘されているが、一度協働することでノウハウが獲得でき、その後の協働につながっているためではないか。一方で、これまで協働したことが無い層には情報提供が課題になると思う。

(5) 閉会